

ご感想、情報は・Eメール life@sankei.co.jp
・FAX 03-3270-2424

社会保障

資格取得…将来の武器に

医療や介護の専門人材が不足するなか、経済的な理由で進学が難しい若者が学費や給付金の提供を受けて、医療や介護の職場で働くプログラムが登場している。高齢者のニーズが爆発的に増える時代を前に、介護現場で働いた経験を社会に出たときの武器にしよとの試みが新鮮だ。

(佐藤好美)

ホーム勤務後に通学

「ちょっと手伝ってもらえますか？」

午前8時、東京都文京区の有料老人ホーム「アズハイム文京白山」。介護職として働く東京電機大2年の佐々木零史さん(19)が、他のスタッフに声をかけた。高齢女性の排泄介助をするためだ。

「(転倒防止のため)必ず2人で介助するように言われています」。佐々木さんは大文学と同時に介護職として働き始めた。約2年が経過した今では、入居者一人一人の状態を把握。この高齢女性については「はつきり尿意がある方なので、(オムツではなく)トイレで介助をしたい」と、違いに応じた対応をしている。

介護職場で学生の就学支援



「始める前はきつくて低賃金の仕事だと思っていたが、得るものが多い」と話す佐々木零史さん
―東京都文京区の有料老人ホーム「アズハイム文京白山」

佐々木さんの一日は早い。午前4時に起き、約1時間かけてホームに出勤。6時から入居者の洗顔や着替え、排泄介助などの「モーニングケア」にあたる。その後、食堂に誘導して食事介助。部屋に誘導して再び排泄介助。午前9時に終了し、大学に通う。時給1500円で週6日働き、学費を自力で賄い、貯金もする。

学生と「伴走」

学生と介護職。「二足のわらじ」を提案したのは、介護現場で働く奨学金プログラム「ミライ塾」を運営する「介

護コネクション」(東京都)の奥平幹也代表だ。同社は介護の人材紹介などを行う会社「エス・エム・エス」(同)と協力し、介護事業所と学生をマッチング。学生が介護事業所から学費の貸与を受け、賃金で返済する「ミライ塾」の仕組みを平成27年度にスタートさせた。

「また、多額の借金を抱えて社会生活を始めるリスクもある。奥平代表は自身が新聞奨学生として大学を卒業した経験から、「経済的な理由で進学できない若者の支援と介護職不足を、同時に解決できないか」と考えた」という。ミライ塾は、事前に働き方と学費の支払い計画を作成。介護事業所が、学生には進学前に学費を貸与し、ミライ塾には学生を継続してサポートする費用を払う。奥平代表自身も両立に苦労した経験から、ミライ塾は学生の「伴走者」として、仕事の負担や単位取得に目配りし、悩みを聞いたり、励ましたりする役割も果たしていく。

佐々木さんは「現場だから見えるものもたくさんある。将来は、認知症の人の行動を察知するセンサーを開発するなど情報分野と介護をからめた仕事をしたい」と話す。佐々木さんを受け入れた有料ホームを運営する「アズハイム」の可知雅子総務人事チーム・マネジャーは「学業と仕事を両立する佐々木さんの姿は職場の若者に刺激になり、いい影響を生んでいる。奥平代表が学生と頻りに連絡を取り、それが本人のやる気にもつながっている」と評価する。同社には、ミライ塾を通して働く女子学生もいる。ホテル業で就職を目指し、やはり介護の資格取得も検討しているという。課題は実績の蓄積。ミライ塾全体で現在6人が働いており、来年度はさらに7人が働き始める予定だ。

看護師育成、製薬会社と市が支援

滋賀県甲賀市の「大原薬品」などが設立した一般社団法人「未来サポート」は来年度から、看護師になりたいという希望があっても経済的な事情で進学や資格取得が難しい人に、生活費や住まいなどを支援する事業を始める。

甲賀市や地元の見守り専門学校の甲賀市や地元の看護専門学校

児童養護施設の卒園者は、18歳で施設を出る決まり。だが、住まいを借りる頭金や保証人などの課題もあり、安定した暮らしの継続が容易でない。

大原薬品の井用隆弘専務は「看護師は大変だけれど、手に職がつき、社会貢献できる仕事。こうした方法ならこの地域でも可能だと思う。医療に限らず、いろいろな分野で少しずつ広がる」と話している。



知人宅にホームエレベーターがある。家の改築時に、自分が「介護される」日のことを考えて設置したとか。でも、こんな高額なもの、と驚いたら「有料老人ホームの2年分の家賃より安いんじゃないの」とこともなげに言う。

自分の家で1人で頑張り切れるまで頑張る、との方針らしい。そのため、費用対効果を考えての決断とか。

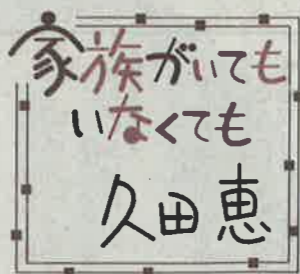
介護保険もだんだん厳しくなりそうだし、今や、保険外負担でヘルパーさんを頼んでいる人も増えている。

でも、介護や家事を人にお願ひする時給はかなり高い。家事代行は2時間で6千円とか7千円とかする。これまで無償だった家庭内労働は、時給に換算すると高額になることを証明したわね、と思

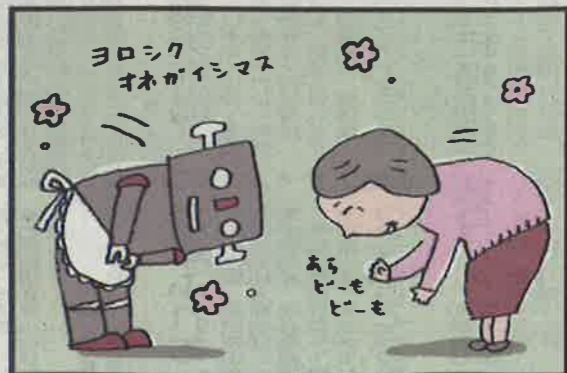
金より覚悟の社会介護?

た。実際、その間に1人暮らしは増え続けて、高齢になって振り向いてみたら、あれれ、家族なんていないじゃないの。そんな事態だ。

介護の社会化の意識だけは定着したけれど、介護保険ですべてが賄えるわけでもなく、なんだか自



▶ 486



イラスト・ヨツモトユキ

見聞きした話をした。「人手がないので、ドーナツ型

テンプルのまわりにすらすらと並べて、真ん中の人が人形で次々、口に入らなくて、ぐるりと回ったら飲み込んでる」ってなっているところがあるんですよ。「いずれ、それは介護がベルトコンベヤーで動く、ロボットが真ん中をぐつ、口に入れるようにことじゃない? ヤだなにしたら、「軟弱だ」とい

特集 完全ガイド 暮らしの知恵 産経新聞